

地区組織活動

		A1	A2	A3	A4	A5
		<ul style="list-style-type: none"> ・年度単位でひとつの業務を実施することができるレベル ・個人、家族への基本的な支援に責任をもつレベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数年単位で複数の業務の方向性を決定し、実施することができるレベル ・集団、組織、地域への基本的な支援に責任をもつレベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数業務の展開、改善に責任をもつレベル ・住民、関係機関と協働し、より深い支援に責任をもつレベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理的役割の補佐ができるレベル ・施策化、システム化の提案に責任をもつレベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・全庁的な管理的役割を担うレベル ・施策化の立案、システム化に責任をもつレベル
保健師の活動領域	元のリーダー 求められる能力	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の活動に参加し、それまでの役割を継続することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい地区組織の必要性を判断し、立ち上げに向け動くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区組織の成長レベル、次の方向性を判断し、地区組織活動に盛り込むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内全体のバランス（格差・過不足）をみて、多様な住民組織のネットワークをたちあげることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内全体の過不足・格差を判断し、充実の方向性について部下と共有し、スーパーバイズができる。
地区組織活動	①住民、住民組織が主体的な健康づくり、地域づくり活動を始められるよう関係を築き動機付けができる能力	1) 既存の活動に参加し、それまでの役割を継続することができる。	1) 住民/住民組織が主体的に力量を高めていけるよう動機付けすることができる。		1) 住民/住民組織との関係を確立しパートナーとしての関わりを維持することができる。 2) 住民の主体的活動を推進する方法についてスタッフを指導することができる。	1) 住民/住民組織の活動成果を主体的に行政や市民にアピールすることができる。
	②組織化に至るよう支援する能力（実態の見える化、先駆例提示等）		1) 新しい地区組織の必要性を判断し、立ち上げに向け動くことができる。 2) 住民/住民組織が健康課題を意識化するための機会や場を提供することができる。	1) 地域の必要性に応じ、社会資源の開発等ができる。	1) 住民活動の組織化・活性化と人材育成ができる。	1) 管内全体の過不足・格差を判断し、充実の方向性について部下と共有し、スーパーバイズができる。
	③住民組織及び自主グループの活動を継続できるように支援する能力（成果のフィードバック、助言等）	1) 各地区組織活動の目的と活動の実際について理解できる。 2) 保健活動と地域組織活動が実際どのように関わっているか理解できる。 3) 既存の活動に参画することができる。	1) 地区組織活動を展開するための具体的な活動計画、実施、評価に指導のもとに参画できる。 2) 地域の社会資源の活用と開発及び情報提供ができる。	1) 地区組織の成長レベル、次の方向性を判断し、地区組織活動に盛り込むことができる。 2) 地区組織、当事者グループを育成し中・長期的な活動目標を共有し組織的な活動の推進ができる。 3) 住民組織の活動支援や運営ができる。 4) 住民・住民組織の力量やニーズに応じて知識や技術を提供することができる。	1) 保健活動の目標に沿って管内の既存組織や社会資源の活動を評価し、効果的な役割分担がなされるように調整することができる。 2) 住民/住民組織が活動の目標を達成するのに必要な協力者を判断し調整することができる。 3) 個々の組織の活動を総合的に把握し、組織間の有機的な連携を図るための支援ができる。	1) 保健活動に必要な社会資源の開発と質の管理ができる。 2) 住民組織、NPOなどの活動の支援についてスーパーバイズができる。 3) 地域住民の組織活動が果たしている役割を広域的に評価することができる。
	④各機関同士、関係機関が協働しネットワーク化を支援する能力		1) 地域組織活動間、関係機関(者)との連携、地域ネットワークの構築ができる。	1) 住民や関係職種との共同活動を効果的に展開する戦略をもつことができる。 2) 動機付け、組織化、継続支援を共同で推進するために、保健活動の推進に必要なケアチームの育成ができる。	1) 管内全体のバランス(過不足・格差)をみて、多様な住民組織のネットワークを立ち上げ、継続するよう支援できる。 2) 住民が、地域の社会資源の活用ができるように関係機関との調整ができる。 3) 住民/住民組織の活動を支援する協力者との関係を構築することができる。	1) 管内全体の過不足・格差を判断し、支援のための推進体制を整備し、組織的に対応できるように他課との交渉・調整・連携ができる。
	⑤行政への提言、施策への参画の段階へと育成する能力			1) 住民/住民組織が活動の目標を定められるように助言することができる。 2) 住民/住民組織による活動が地域の社会資源として機能するように助言することができる。 3) 住民や民間の組織の活動情報を収集し、保健活動への協力や組織への支援等で相互理解と連携を図ることができる。		1) 住民/住民組織が保健政策の決定プロセスに参加できる機会をマネジメントすることができる。